

6. 高校生のための看護学を学ぶ公開講座

高校生のための看護学を学ぶ公開講座は、看護学に高校生が触れ考える機会を提供するもので、高校生が学問として看護を学ぶということ、大学で看護を学ぶ志向性を強めることを目指し実施している。令和6年度は、「援助関係」をテーマとし、オープンキャンパスのプログラムの一つとして参加型で実施した。

- 実施日時：令和6年7月27日（土曜日）

午前の部と午後の部に1回ずつ、合計2回実施。事前申込の予約制

- 高校生対象：午前、午後とも定員80名
- テーマ：「援助関係について考えてみましょう」
- 講師：畠山卓也 准教授（精神看護学領域）
- 内容：講義と課題学習(1回40分)

参加者がこれまでに培ってきた「対人関係」と、これから学び身につけていく「援助関係」との相違について考えることのできる機会とする。

講義を通して、人間関係と援助関係の相違について確認しながら、個人ワーク（①私のことをケアしてくれる看護師だと認識するための条件、②参加者自身のよいところ、強み）に取り組み、その内容を全体で共有した。そして、「豊かな人間関係をつくるために、いまできること」についてグループワークを行い、日々の生活のなかで取り組み努力することの大切さを共有した。

GoogleFormsを用いた参加者のフィードバック（回答数125件・回答率90%程度）からは、講座のわかりやすさ、看護学を学ぶ意欲、看護職への興味・関心のいずれも高い評価だった。また、自由記述の回答からは、人間関係を大切にすること、自分を知ること、自分を磨くこと、相手の立場になって考えることの大切さが記されていた他、グループワークで他者の意見を聞くことの面白さについても多くの高校生が回答していた。



